

令和7年度 第2回吉崎市入札監視委員会 会議録（要約版）

日 時：令和8年3月27日（金） 午後1時25分から午後2時15分

場 所：吉崎市役所 郷ノ浦庁舎 2階会議室

出席者：委員 藤井信孝、殿川 穂、大久保敏範、原田憲一郎
 吉崎市 副市長 中上良二、総務部長 平田英貴
 事務局 財政課長 原 裕治、課長補佐兼契約管財班係長 坂本謙太郎
 契約管財班係長 長畑見季、契約管財班主事 豊永恭平
 説明員 教育総務課 教育総務課長補佐
 観光課 観光課長、観光しまづくり班係長
 上下水道課 上下水道課長
 建設課 建設課長、建設課主幹
 農林課 農林課長、農林整備班係長

1. 開会（午後1時25分）

進行：事務局

2. 議事

進行：藤井委員長

（1）抽出案件の審査について（令和7年9月から令和7年12月入札執行の工事等）

抽出事案：1 管工事	
抽出理由：全者失格で不調に終わっている。予定価格と入札額の差は何と思われるか。	
回 答	本件については、管工事登録業者による参考見積（直接工事費）を基に積算を行い、予定価格を設定しておりましたが、各業者の入札金額が最低制限価格を下回る結果となり、有効な入札が成立せず不調となったものです。 主な要因としては、実施設計における共通費（共通仮設費・現場管理費・一般管理費等）と業者の見積額に差が生じたためではないかと思われます。 今後は、改修工事における実施設計の精度を高め、適正な工事価格の設定に努めてまいります。
質問・意見等	質問・意見等に対する回答
直接工事費は差がなかったのか？	ありません。

抽出事案：2 建築一式工事	
抽出理由：参加者が少ない理由は何か？	
回 答	今回の工事の入札は、吉崎市建設工事の競争入札業者格付け及び工事別発注基準において、建築一式のBランクで実施しました。 同ランクの業者数は3者であり、今回1者のみの入札参加でありました。 他2者の不参加理由は、受注意欲がなかったものと推測されます。

抽出事案：3 水道施設工事①及び②	
抽出理由：①落札率99.54%と高い理由は何か？ ②落札率100%と高い理由は何か？ ①②の落札者が同一な理由。	
回 答	①この工事は制限付き一般競争入札において入札を行い受注者を決定していますが、参加業者の受注意欲が低かったため、落札率が高くなったと推測されます。 ②この工事も①と同様に入札を行っていますが、①とは違い、受注意欲の高い2者が失格となったため、予定価格と同額で応札した業者が落札したと推測されます。 ③上記2工事は設計金額において、格付のBランクの業者であり、たまたま同一業者が落札することとなりました。

<p>抽出事案：4 補償関係コンサル（物件）</p> <p>抽出理由：業者数46で応札者数1という結果をどのように思われるか。 業務の内容（調査の方法）を伺いたい。 税務課が発注している「固定資産客体把握（航空写真撮影）業務」の成果品と情報共有をされるのか。</p>					
回 答	<p>本業務は、平成28年に今回受注者の国際航業が受注されています。 当時の空き家実態調査の資料を基に、空家バンク登録情報、水道使用状況データなどから、空き家と思われるものを抽出し、現地調査を行ないます。その調査を基に、空家ごとに建物の状況や写真などのデータベースを作成し、地区別や建物の状況別などの集計を行い基礎資料を作成します。 この作業に多くの人員を要し、離島での調査は旅費や宿泊費等の経費が掛かるため応札が1者となったと考えます。 また、税務課発注の壱岐市統合型地理情報システムも、国際航業のデータであり航空写真と連動し、空き家の情報と併せ閲覧することができます。</p>				
<p>抽出事案：5 電気工事①及び②（同一工事）</p> <p>抽出理由：①（前回入札を行い不落）より、②の方が予定価格が102,000円上がっているが、資材単価が上がったのか。 ①の予定価格と入札額の差（856,000円～906,000円）は何と思われるか。 担当課で、令和8年1月13日に入札されているが、入札の状況（落札率等）を伺いたい。</p>					
回 答	<p>採用単価期が前回入札時点から更新しているため、単価の変動があります。 （物価版単価10月→12月に変更）※設計内容等の変更はありません。 前回の予定価格と入札額の差が生じた理由は単なる積算ミスが考えられます。 （応札された事業者の入札額については、乖離が大き過ぎる） 制限付き一般競争入札により、5者が参加され、第1回目入札で落札。落札率は92.9%です。※予定価格 8,905,600円 落札額 8,272,000円</p>				
<p>抽出事案：6 災害復旧工事①及び②（同一工事）</p> <p>抽出理由：参加者が少ない理由は何か？ ①（入札を行い不調）より②の方が予定価格が655,000円上がっているが、何を見直されたのか。</p>					
回 答	<p>参加者が少ない理由について 本工事はため池の災害復旧工事であり、池底堆積土の有無や水位管理、非かんがい期施工等の制約により施工可能期間が限定されていること、さらに同時期に他工事の受注が重なったことから技術者の配置や施工体制の確保が困難であったこと等が要因となり、参加を見送る事業者が多くなったものと認識しております。 予定価格の見直しについて 1回目の入札においては、災害査定に基づく当初計画をもとに予定価格を算定しておりました。当初計画では、地元の協力が得られずため池の水位を下げることでできない状況であったため、復旧工法については、周囲の護岸が張ブロックで保護されていたことから、復旧計画区間においても被災前に張ブロックがあったものと想定し、再利用する計画としておりました。 しかし、入札不調後の現地確認の結果、復旧計画区間には実際には張ブロックが存在していないことが判明したため、資材の購入費が必要となり、復旧工法にかかる費用が増加したことから、2回目の入札では予定価格を増額せざるを得なかったものです。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>質問・意見等</th> <th>質問・意見等に対する回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①1回目と2回目では設計変更を行ったのか？ ②当初の段階では、張ブロックの必要性はわからなかったのか？</td> <td>①設計変更を行った。 ②当初段階では、農繁期であり水位を落とすことができず、必要性が不明であった。</td> </tr> </tbody> </table>	質問・意見等	質問・意見等に対する回答	①1回目と2回目では設計変更を行ったのか？ ②当初の段階では、張ブロックの必要性はわからなかったのか？	①設計変更を行った。 ②当初段階では、農繁期であり水位を落とすことができず、必要性が不明であった。
質問・意見等	質問・意見等に対する回答				
①1回目と2回目では設計変更を行ったのか？ ②当初の段階では、張ブロックの必要性はわからなかったのか？	①設計変更を行った。 ②当初段階では、農繁期であり水位を落とすことができず、必要性が不明であった。				

抽出事案：7 土木一式工事①及び②（同一工事）	
抽出理由：①入札者以外全員辞退した理由は？（辞退者が多いのはなぜか？） 予定価格と入札額に大幅な違いがあるのは何故か？ 工事の概要を伺いたい。 ②入札者以外全員辞退した理由は？（辞退者が多いのはなぜか？） 今回も超過となっているが、その後の処理は？	
回 答	<p>①-1 入札者以外全員辞退した理由について 本工事はため池の整備工事であり、池底堆積土の有無や水位管理、非かんがい期施工等の制約により施工可能期間が限定されていること、さらに同時期に他工事の受注が重なったことから技術者の配置や施工体制の確保が困難であったこと等が要因となり、参加を見送る事業者が多くなったものと認識しております。</p> <p>①-2 予定価格と入札額の大幅な違いについて 本件については、予定価格の積算に一部誤りがあり、結果として実勢に比して低い水準となっていました。積算は設計業務を委託したコンサルタントにより行われたものですが、その内容に不備があり、加えて発注者側の確認が不十分であったため、誤りを見落としたまま予定価格として採用していました。このため、事業者の見積額との間に乖離が生じ、入札額との差が大きくなったものです。今後は、委託成果の照査および発注者側のチェック体制を強化し、再発防止に努めてまいります。</p> <p>①-3 工事の概要について 工事内容：法面保護工（コンクリート吹付） A=167.5m²</p> <p>②-1 入札者以外全員辞退した理由について 辞退の理由は①-1と同様になります。</p> <p>②-2 入札超過とその後の処理について 2回目の入札では適正な積算額を予定価格として採用しましたが、入札額が超過しています。入札不調により工期の確保が困難となったことから、本工事を次年度へ繰越し、非かんがい期を中心とした施工ができるよう、適切な時期に再度発注を行います。</p>
質問・意見等	質問・意見等に対する回答
①コンサルの不備は計算ミスか？ ②積算は農林課でするのではなく、外部発注しているのか。	①コンクリート吹付けの10m ² 当たりの単価が1m ² あたりで積算されていた。 ②農林課発注分については外部発注している。

◎委員会意見

前回の10月と今回の2回で個別案件の審議を行った。

令和7年度の審査については、適正に行われたということで別紙のとおり市長に報告する。

(2) その他

次回会議日程について

令和8年9月から10月頃を目途に日程調整を行う。

4. 閉会（午後2時15分）